

金澤醫科大學法醫學教室

(主任 古畑 教授)

金澤市新堅町小學校兒童ノ血液型調査

並ニ血液型ト氣質トノ關係ニ就テ

講師 醫學士 正 木 信 夫

助手 醫學士 越 後 一 雄

(昭和7年12月16日受附)

目 次

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 一. 緒 言 | (二) 古川氏ノ $\frac{A}{P}$ ニ就テ |
| 二. 血液型調査成績 | (三) 氣質型ト血液型トノ關係 |
| (一) 兒童ノ血液型分布率 | (四) 偶然一致率ニ關スル考察 |
| (二) 教師ノ血液型分布率 | (五) 教師ニ就テ行ヘル氣質型ト血液型トノ關係 |
| (三) p. q. r. ノ値ニ就テ | |
| 三. 氣質ト血液型トノ關係ニ就テ | 四. 結 論 |
| (一) 積極的, 消極的氣質ト血液型トノ關係ニ就テ | 文 獻 |

一 緒 言

昭和7年2月20日及ビ同年10月23日ノ兩回, 余等ハ金澤市新堅町小學校當局ノ依頼ニヨリ兒童ノ血液型検査ヲ行ツタ. 其ノ際余等ハ豫メ當該學校當局ニオ願ヒシテ兒童ノ氣質ヲ調査シテオキ, 血液型ト氣質トノ關係ニ就イテモ調査ヲ行ヒ其ノ結果, 以下述ブルガ如キ成績ヲ得タカラ此處ニ報告スル.

二 血液型調査成績

(1) 兒童ノ血液型分布

検査方法ハ各兒童ノ耳朶ヲ酒精綿ニテ清拭シフランケ採血針ニテ穿刺シ, 血液ヲ枸橼酸ソーダ食鹽水ニ採リ, 教室貯藏ノ標準血清ニヨツテ検査シタ.

最初ニ, 尋常一年ヨリ六年迄ノ兒童1276人ニ就イテ検査シ, 第2回ニハ本年4月新入學シタ一年生287人ニ就イテ行ヒ合計1563人ニ就イテ検査シタ.

被検査兒童ハ全部金澤市在住ノ者デアツテ, 其ノ血液型ノ分布状態ハ第1表ニ示ス通りデアル.

男子822名, 女子741名ノ血液型分布率ヲ比較スルニ, 男子ニ幾分B型多ク, 女子ニA型ヤ、多キ様デアルガ大體ニ於テ全ク同様な分布状態ヲ示シテキルモノデアル.

第 1 表

血液型	O	A	B	AB	計	人種系数
男子	260	311	173	78	822	1.55
%	31.63	37.83	21.05	9.49	100.00	
女子	249	290	140	62	741	1.74
%	33.60	39.14	18.89	8.37	100.00	
計	509	601	313	140	1563	1.63
%	32.56	38.45	20.03	8.96	100.00	
石川縣	5545	6333	4029	1707	17614	1.40
%	31.48	35.96	22.87	9.69	100.00	
北陸地方	10190	11771	7277	3062	32300	1.43
%	31.55	36.44	22.53	9.48	100.00	

人種系数ハ男子ニ於テ 1.55, 女子ニ於テ 1.74 デアツテ女子ニ於テヤ、大デアル。男女總計ニ於テ O型ガ509人(32.56%), A型601人(38.45%), B型313人(20.03%), AB型140人(8.96%), 人種系数 1.63 デアツテ、之ヲ石川縣人總計及ビ北陸地方人總計ノ成績ニ比較スルニ A型ガヤ、多イ様ナ傾向ガ認めラレ、從ツテ人種系数モ少シク高イ數値ヲ示シテキルガ大體ニ於テ一致シタ成績デアルト言ヘル。

(2) 教師ノ血液型分布率

此ノ他ニ教師 29 名ノ血液型ヲ検査シタ。此等ノ人々ハ大部分ハ金澤市或ハ其ノ近郊出身ノ人々デアル。此ノ 29 名ノ教師ノ血液型ハ第 2 表ノ如クニナリ、男子ニ於テモ女子ニ於テモ O型ガ多イコトガ目立ツ。前述ノ如ク、兒童ニ就イテハ A型ガ比較的多カッタニモ拘ハラズ教師ニ於テハ A型ガ極メテ少ナイ。却ツテ B型ノ方ガ多クテ女子ニ於テハ 31% ヲ占メテキル。

第 2 表 教師ノ血液型

血液型	O	A	B	AB	計
男子	9	3	3	1	16
%	56.25	18.75	18.75	6.25	100.00
女子	7	2	4	0	13
%	52.85	15.38	30.77	0	100.00
計	16	5	7	1	29
%	55.17	17.24	24.14	3.45	100.00

血液型ト氣質トガ關係アルト云フ人々ノ中ニハ小學校男教師ニハ A型ガ著シク多ク、女教師ニ於テハ B型ガ多イト説イテキル人モアルガ、余等ノ結果ハ男教師ニ於テハ全ク之ト反對

ノ成績ヲ示シテキルノデアツテ著者ノ一人ガ先ニ富山縣氷見郡下小學校ニ於テ上道、桑島兩氏ト共ニ調査シタ時ノ成績ト全ク同様デアル。然シナガラ余等ハ僅カ數十人ノ血液型検査ノ結果カラ何々ノ職業ニハ何型ガ多イナドト早計ニ結論スルコトニハ賛成出来ナイ。

(3) p, q, r, ノ値ニ就テ

ウェーリツシュノ算式ニヨリ p, q, r ノ値ヲ計算シテ見ルト(第3表) p=2.734, q=1.560, r=5.706 トナリ、石川縣及ビ北陸地方一般ノ値ニ比較シテ大差ナイガ p ノ値ハヤ、大キク q ハ比較的小デアル。

次ニ此ノ p, q, r ノ値ヨリ三遺傳單位説ノ理論ニヨリ O型, A型, B型, AB型ノ出現率ヲ算出シテ見ルト第4表ニ示ス如クナリ。O型ハ 32.56% デ觀察數ト全ク一致シ, A型ハ 38.67% トナリ, 觀察數トノ間ニ 0.22% ノ偏差ガアリ, B型ハ 20.24% デアツテ觀察數トノ間ニ 0.21% ノ偏差ガアリ AB型ニ於テハ 8.53% トナリ, 觀察數トノ間ニ 0.43% ノ偏差ガアルガ、之等ノ各偏差ノ平均誤差 $M = \sqrt{m_1^2 + m_2^2}$ ヲ計算シテ見ルト、何レモ平均誤差ヨリハ遙カニ小サナ偏差デアルコトヲ知り、三遺傳單位説ノ理論ガ實際ニヨク適合スルコトヲ認メルノデアル。

第 3 表

$$p = \frac{1}{2}(10 - \sqrt{O+B} + \sqrt{O+A} - r) = 2.734$$

$$q = \frac{1}{2}(10 - \sqrt{O+A} + \sqrt{O+B} - r) = 1.560$$

$$r = \sqrt{O} = \frac{5.706}{10.000}$$

検査場所	検査總數	p	q	r	p+q+r
新墾町小學校	1563	2.734	1.560	5.706	10.000
石川縣	17614	2.615	1.775	5.610	10.000
北陸地方	32300	2.637	1.746	5.617	10.000

第 4 表

血液型	O 型 (OO)	A 型 (AA+AO)	B 型 (BB+BO)	AB型 (AB)
	r^2	p^2+2pr	q^2+2qr	$2pq$
理論數 (F ₁)	32.56	38.67	20.24	8.53
平均該差 (m ₁)	± 1.18	± 1.23	± 1.01	± 0.71
觀察數 (F ₂)	32.56	38.45	20.03	8.96
平均誤差 (m ₂)	± 1.18	± 1.23	± 1.01	± 0.71
F ₁ -F ₂	0	0.22	0.21	0.43
$M = \pm \sqrt{m_1^2 + m_2^2}$	± 1.67	± 1.74	± 1.43	± 1.01

三 氣質ト血液型トノ關係ニ就テ

古川氏ハ氣質ト血液型トノ關係ヲ研究スルニ當リ、最初其ノ血族十數名ノ血液型ヲ觀テ、同一血液型者間ニハ各々共通ノ氣質ノ特徴ガ認メラレ血液型ヲ異ニスル者ノ間ニハ明瞭ナ氣質ノ相違ガアルコトニ氣付キ、夫等ノ氣質ノ特徴ヲ集メテ案ヲ作り、之ヲ以テ親戚、友人、同僚、先輩、女高師ノ生徒等ニ就イテ調査セラレタ結果、80%以上90%内外ノ一致ヲ見、氣質ト血液型トハ密接ナ關係ガアルモノデアルト結論シ次ノ如ク説明ヲシタ。氣質ヲ意志ト感情トニ方面ヨリ觀ル時ハO型ハ意志的デアリ、A型、B型、AB型ハ感情的ナリトシ、又更ニ氣質ノアラハレデアル各人ノ活動形式ヲ Activ ト Passiv ニ分ケテ之ト血液型トノ關係ヲ示セバ

Activ O型 B型

Passiv A型 AB型

ナリトシ、此處ニ於テ Activ ト Passiv トノ比、即チ $\frac{O\% + B\%}{A\% + AB\%} = \frac{A}{P}$ ヲ以テ團體(活動)性指數ト名付ケ、團體ヲ組織シテキル人々ノ血液型ヲ知ルコトニヨツテ其ノ團體ノ氣質ヲ窺フコトガ出來。(1). 此ノ $\frac{A}{P}$ ノ値ガ1.0ノ時ハ該團體ハ Activ ナ人々ト Passiv ナ人々ト相半バシテキル。故ニ其ノ團體氣質モ同様ノ傾向ヲ示ス。(2). 此ノ値ガ1.0ヨリ小デアル程 Passiv ナ人々ガ多クナルカラ其ノ團體氣質ハ溫和デアリ Passiv デアル。(3). 此ノ値ガ1.0ヨリ大デアル程 Activ ナ人々ガ多クナル。其ノ團體氣質ハ積極的デアリ Activ デアル。又 $\frac{A}{P}$ ガ1.6ト1.0トノ間ニアル團體ハ統御シ易イガ之ガ1.6以上ノ團體乃至國家ハ平和ヲ保チ難イ。以上ノ立脚點ヨリ古川氏ハ色々ノ團體又ハ職業團ニ就イテ $\frac{A}{P}$ ヲ計算シ之ト其ノ團體氣質ト併セ考察シテ初メテ其ノ團體ノ本來ノ氣質ヲ了解シ得、引イテ其ノ團體又ハ職業團ノ能力増進ニ迄資シ得ルモノデアルト説イテキル。

更ニ又 $\frac{A}{P}$ ハ人種性及ビ民族性ヲ研究スルニ好個ノ指針ヲ與フルモノデアツテ一國一地方ノ血液型ノ分布率ハ其ノ地方其ノ國ノ獨特ノ氣質ヲ表徴シテキルノデアツテ、例ヘバ英國、支那及ビ日本ノ國民性ノ如キ此ノ $\frac{A}{P}$ ヲ以ツテスルナラバ明快ニ之ヲ了解シ得ルモノデアルト説イテキル。

此ノ古川氏説ニ對シテハ贊否兩論色々アルノデアルガ金關(文夫)、淺田(一)ノ兩氏ハ之ニ贊シ、大イニ傾聽スベキ説デアルト述ベテ居ラレル。大岩(博雅)氏ハ606名ノ海兵ニ就イテ調査シ、O型ニ於テハ66%進取的ノ者アリ、A型ニ於テハ65.7%ノ保守的ノモノアリ、B型ニ於テハ73%ノ進取的ノモノアリ、AB型ニ於テハ進取、保守相半バシテキルトイフ成績ヲ得、大體ニ於テ古川氏説ニ贊シテ居ラレル。

又永山(千代作)氏ハ九州出身海兵116人ニ就イテ調査シ、O型、B型ハ70—80%ノ積極的ノ者アリ、A型、AB型ニハ40—60%ノ消極的ノ者アリト説イテキル。三宅(徳三郎)、橋本(敏雄)ノ兩氏ハ所謂劣等兒ニ就イテ血液型ト氣質トノ關係ヲ調査セラレタノデアルガ其ノ結果A型者ハ消極的デアリ、B型者ハ積極的ナル點ハ充分認メ得ルトナシテキル。

又岩波(浩)氏ハ海兵510名ニ就キ調査シ、 $\frac{A}{P}$ ガ0.95デアツタコトハ意外トスル所デアルト其ノ豫期ニ反セルコトヲ叙ベタ。然シナガラ生徒ノ諸種團體作業ノ成績ト比較考察スル時其ノ成績ガ $\frac{A}{P}$ ヲ以テヨク説明セラル、トナシ $\frac{A}{P}$ ハ相當ニ有意義ノモノデアラウト結論セラレテキル。西郷(一恵)、宮川(頼壽)ノ兩氏ハ熊本縣人ニ就イテ氣質ト血液型トノ關係ヲ調査セラレタ結果O型トB型トハ活動形式ニ於テハ類似スルモ感情ト意志ノ傾向ハ相反シ、O型トA型トハ感情、意志モ活動形式モ殆ンド相反スル。A型、B型ハ感情方面ニ於テ類似シ、活動形式ニ於テ相反スル。AB型ハ活動形式ニ於テ相反シタ二者ノ雜種デアルノデ氣質ノ判定困難デアル。而シテAB型ハA型、B型ノミナラズ更ニO型ニモ密接ナル關係アルガ如キ奇異ノ感ニ打タレタト稱シ、大體ニ於テ古川說ニ賛成セラレテキルガ $\frac{A}{P}$ ニ關シテハ之ニ對スル批判ハ後日ニ待ツコトニセラレテキル。

岸(孝義)、上道(清一)ノ兩氏ハO型ノ人々ニハ2種類アツテ積極的ナ性質ノモノト消極的ナモノト相半バシテ居ル様ニ思ハレルト叙ベ、O型ガ全ク積極的ナリトスル古川說ヲ訂正シ、O型ニハ積極的ノモノト消極的ノモノガアルコトヲ注意セラレタ。山田(兵三)氏ハ627名ノ隊兵ニ就イテ調査シ、O型及ビA型ハ積極的氣質ノ者少ク、消極的氣質ノ者ガ最も多ク、殊ニA型ニ多ク、之ニ反シテB型及ビAB型ニ於テハ積極的氣質ヲ有スルモノ多ク消極的氣質ヲ有スルモノガ少イト報告シタ。

處ガ文學士石川(七五三二)氏ハ某女子師範學校寄宿舎生徒中ノ三年以上ノモノ97名、某感化院兒童78名ニ就イテ血液型ト氣質トノ關係ヲ調査セラレタ結果A型ハ積極的自己主張型デアリ、O型ハ消極的自己主張型デアリ、B型ハ消極的抑壓型デアリ、AB型ハ積極的自己抑壓型デアルト古川說トハ全ク相反スル說ヲ主張スルニ至ツタ。

又文學博士久保(良英)氏ハ師範學校生徒92名ニ就イテ多クノ性格ヲ表ハシタ表ヲ作り、之ヲ各生徒ニ配布シテ自己判斷ニヨツテ性格ヲ判定セシメテ研究セラレタ結果O型ハ意志型デアル點ハ古川說ト一致スルガ消極的デアリ感情分子ガ多ク、A型ハ社交的デアリ、積極的デアツテB型ヨリ外向性デアリ、B型ハヤ、消極的ノ方ガ多イト說カレ、之又古川說トハ非常ナ隔リガアリ、寧ロ石川說ニ類スルモノデアル。

之ヲ要スルニ、氣質ノアラハレデアル活動形式ト血液型トノ關係ニ關シテO型トB型ハ積極的デア型トAB型トハ消極的デアルトイフ古川說ト、之ニ反シO型トB型トハ消極的デア型トAB型トハ積極的デアルトノ石川文學士、久保文學博士等ノ全ク相反スル說ガアル。然シテ血液型ト氣質トノ其他ノ問題ニ就イテモ幾多疑義ガアリ、又其ノ活動形式ニ就イテモ全ク相反スル兩說ガアツテ血液型ト氣質トノ問題ハ全ク歸一スル處ガナイ有様デアル。

尙石川、久保兩氏ノ外ニ古川說ニ疑義ヲ懷イテ居ラレル人ニ松井(三雄)文學士ガアル。

調 査 成 績

(1) 積極的、消極的氣質ト血液型トノ關係ニ就テ

調査方法ハ余等ハ先ヅ各受持教師ニ各兒童ニ就イテ積極的進取的ナルカ或ハ消極的保守的ナルカ觀察ノ結果ヲ記入シテ頂イタ。

余等ハ兒童ノ氣質ノ判定ニ特別ノ氣質表ヲ用ヒナカッタ。之ハ檢者ノ先入偏見或ハ心理的暗示等ヲ出來ルダケ防ギ眞ニ受持教師等ノ兒童ノ觀察ニ基ヅク判定ヲ卒直ニ記入スルコトヲ望ンダガ爲メデアル。

先ヅ第一ニ、血液型別ニ積極的氣質者ト消極的氣質者トノ割合ヲ見、兩者ノ間ニ關係ガアルカ否カヲ觀察シテ見ヤウ。

第5表ハ此ノ結果ヲ纏メテ表示シタモノデアルガ、各型ヲ通ジテ積極的ノモノヨリモ消極的ノモノガ多ク、血液型ニヨツテ特ニ相違スルモノヲ見出サナイ。然シナガラ細カニ觀察スル時ハ、O型トB型トニハA型、AB型ニ比較シテ積極的ノ者ガヤ、多イ様ノ傾向ハ示サレテキル。

次ニ積極的氣質所有者トサレタ者ノミヲ集メ、之ヲ血液型ニヨツテ統計シテ見ルト(第6表)、O型ガ33.72%、A型ガ35.19%、B型ガ23.17%、AB型ガ7.92%デアツテ之ヲ北陸地

第5表(1) 積極的及消極的氣質者ノ血液型 男子

	O		A		B		AB		計	
	積極	消極	積極	消極	積極	消極	積極	消極	積極	消極
新入1年	12	27	33	27	13	9	6	9	64	72
1年	12	12	19	20	9	10	1	7	41	49
2年	17	17	15	30	9	12	2	6	43	65
3年	18	12	9	24	17	10	4	5	48	51
4年	13	19	14	30	11	16	3	4	41	69
5年	15	15	21	21	10	8	4	6	50	50
6年	28	23	9	15	10	11	7	5	54	54
計	115	125	120	167	79	76	27	42	341	410
%	47.92	52.08	41.81	59.19	50.97	49.03	39.13	60.87	45.41	54.59

第5表(2) 女子

	O		A		B		AB		計	
	積極	消極	積極	消極	積極	消極	積極	消極	積極	消極
新入1年	20	33	30	29	13	12	3	9	66	83
1年	7	16	5	22	4	13	2	3	18	54
2年	20	16	15	19	14	9	3	7	52	51
3年	11	16	14	29	9	17	3	5	37	67
4年	9	28	15	24	4	9	1	11	29	72
5年	27	15	25	19	10	7	4	1	66	42
6年	13	14	16	24	8	8	4	5	41	51
合計	107	138	120	166	62	75	20	41	309	420
%	43.67	56.33	41.96	58.04	45.26	54.74	32.79	67.21	42.39	57.61

第5表 (3) 積極的消極的氣質者ノ血液型 (男女合計)

	O		A		B		AB		計	
	積極	消極	積極	消極	積極	消極	積極	消極	積極	消極
男子	115	125	120	167	79	76	27	42	341	410
女子	107	138	120	166	62	75	20	41	309	420
計	222	263	240	333	141	151	47	83	650	830
%	45.77	54.23	41.88	58.12	48.29	51.71	36.15	64.85	43.92	56.08

第6表 (1) 積極的氣質者ノ血液型 男子

	O	A	B	AB	計
男子	115	120	79	27	341
% (F ₁)	33.72	35.19	23.17	7.92	100.00
平均誤差(m ₁)	± 2.56	± 2.58	± 2.28	± 1.46	
北陸地方血液型比率 (F ₂)	31.55	36.44	22.53	9.48	100.00
平均誤差(m ₂)	± 0.27	± 0.28	± 0.23	± 0.16	
F ₁ -F ₂	2.17	- 1.25	0.64	- 1.56	
差ノ平均誤差	± 2.57	± 2.60	± 2.30	± 1.47	

第6表 (2) 女子

	O	A	B	AB	計
女子	107	120	62	20	309
% (F ₁)	34.63	38.84	20.06	6.47	100.00
平均誤差(m ₁)	± 2.71	± 2.77	± 2.28	± 1.40	
北陸地方血液型比率 (F ₂)	31.55	36.44	22.53	9.48	100.00
平均誤差(m ₂)	± 0.27	± 0.28	± 0.23	± 0.16	
F ₁ -F ₂	3.08	2.40	- 2.47	- 3.01	
差ノ平均誤差	± 2.72	± 2.78	± 2.29	± 1.41	

第6表 (3) 積極的氣質者ノ血液型 男女總計

	O	A	B	AB	計
男子	115	120	79	27	341
女子	107	120	62	20	309
計	222	240	141	47	650
% (F ₁)	34.16	36.92	21.69	7.23	100.00
平均誤差 (m ₁)	± 1.86	± 1.89	± 1.62	± 1.01	
北陸地方血液型 比率 (F ₂)	31.55	36.44	22.53	9.48	100.00
平均誤差 (m ₂)	± 0.27	± 0.28	± 0.23	± 0.16	
F ₁ -F ₂	2.61	0.48	- 0.84	- 2.25	
差ノ平均誤差	± 1.88	± 1.91	± 1.63	± 1.03	

方ノ血液型ノ分布率ニ比較スルト、O型ニ於テ2.17%、B型ニ0.64%多ク、A型、AB型ニ於テハ何レモ少イ。女子ニ就イテハO型、A型ハ2—3%平均ノ比率ヨリ多ク、B型、AB型ハ反對ニ2—3%ヅ、少イ、男女總計ニ就イテモ同様ノ關係ニアルコトヲ見ルノデアツテ此ノ結果ヨリハ積極的ノ者ハ必ズシモO型、B型ニ多イトハ言ハレナイ、其ノ差ノ信頼度ヲ見ルニ此等ノ差ハ1—2%ノ差デアツテ、平均誤差ヲ計算スル時ハ誤差ノ範圍内ニ當然入ルベキ數デアツテ、素ヨリ問題ニナラナイ差デアルコトヲ知ル。

又消極的氣質所有者ト判定サレタ者ノミヲ集メテ各血液型ニ統計シテ觀ルナラバ第7表ノ如ク、之ヲ前同様北陸地方ノ血液型ノ分布率ニ比較シテ觀ルト、男子ニ於テハA型、AB型ノ者ガ多ク、O型、B型ノ者ハ少イ。

女子及ビ男女總計ニ就イテ見ルニ消極的ノ者ハO型、A型、AB型何レモ平均ノ比率ヨリ多

第7表 (1) 消極的氣質者ノ血液型 男子

	O	A	B	AB	計
男子	125	167	76	42	410
% (F ₁)	30.49	40.73	18.54	10.24	100.00
平均誤差 (m ₁)	± 2.27	± 2.42	± 1.92	± 1.49	
北陸地方血液型 比率 (F ₂)	31.55	36.44	22.53	9.48	100.00
平均誤差 (m ₂)	± 0.27	± 0.28	± 0.23	± 0.16	
F ₁ -F ₂	- 1.06	4.29	- 3.99	0.76	
差ノ平均誤差	± 2.29	± 2.44	± 1.93	± 1.50	

第7表 (2) 女 子

	O	A	B	AB	計
女 子	138	166	75	41	420
% (F ₁)	32.86	39.52	17.86	9.76	100.00
平均誤差(m ₁)	± 2.29	± 2.38	± 1.87	± 1.44	
北陸地方血液型 比率 (F ₂)	31.55	36.44	22.53	9.48	100.00
平均誤差(m ₂)	± 0.27	± 0.28	± 0.23	± 0.16	
F ₁ -F ₂	1.31	3.08	- 4.67	0.28	
差ノ平均誤差	± 2.31	± 2.40	± 1.88	± 1.46	

第7表 (3) 消極的氣質者ノ血液型 (男女總計)

	O	A	B	AB	計
男 子	125	167	76	42	410
女 子	138	166	75	41	420
計	263	333	151	83	830
% (F ₁)	31.69	40.12	18.19	10.00	100.00
平均誤差(m ₁)	± 1.61	± 1.70	± 1.34	± 1.04	
北陸地方血液型 比率 (F ₂)	31.55	36.44	22.53	9.48	
平均誤差	± 0.27	± 0.28	± 0.23	± 0.16	
F ₁ -F ₂	0.14	3.68	- 4.34	0.52	
差ノ平均誤差	± 1.63	± 1.72	± 1.36	± 1.05	

イコトニナツテキル、然シ其ノ差モ之等ノ平均誤差ヲ計算シテ考察スルトアマリ意味ノナイモノデアルコトヲ知り消極的ノ者必ズシモA型、AB型ニ多イトハ言ハレナイ。

要之、余等ハ古川氏ノO型、B型ハ積極的デアリ、A型、AB型ハ消極的デアルト言フガ如キ確然タル關係ヲ見出スコトガ出來ズ、却ツテ甚ダ疑ハシイトイフ印象ヲ得タノデアル。

(2) 古川氏ノ $\frac{A}{P}$ = 就イテ

古川氏ハ $\frac{O\% + B\%}{A\% + AB\%} = \frac{A}{P}$ ヲ團體性指數ト稱シ、之ニヨツテ其ノ團體ノ氣質ガ伺ヒ知ラル、モノデアルト稱シテキル、然シナガラ言フ迄モナク、此ノ問題ハ前項ノ積極的進取的氣質及ビ消極的保守的氣質ト血液型トノ關係ガ確定シタ上ニ於テ初メテ論ジラレル價値ガアルモノデ前項調査ニ於テ古川氏ノ言フガ如キ關係ガ存在シナイコトガ明カニナツタ以上、其ノ

$\frac{A}{P}$ ノ意義ハ殆ンド消滅スル筈デアル。換言スルト $\frac{A}{P}$ ニヨツテ團體ノ氣質ヲ論ズルコトハ妥當デナイコトハ明カデアラウ。

余等ハ曩ニ「石川縣河北郡五小學校兒童ノ血液型調査成績」ニ於テ $\frac{A}{P}$ ヲ以テ團體氣質ヲ云々スルコトハ意義ノナイコトヲ實驗的ニ知り得タガ本例ニ於テモ念ノ爲メニ其ノ無意義ナルコトヲ明カニシテ置コウ。

今古川氏ノ $\frac{A}{P}$ ト年級毎ニ各受持教師ノ觀察シタ積極的氣質ノモノト消極的氣質ヲ有ツ者トノ比ガ一致スルカ否カヲ觀テ見タ。

此ノ結果ハ第8表ニ示ス如クデ古川氏ノ指數 $\frac{A}{P}$ ト積極的氣質者ト消極的氣質者トノ比ガ一致シナイノミナラズ兩者全く無關係ノ状態ニアルノデアル。

第 8 表

	男 子				女 子			
	積 極	消 極	比	古川氏 $\frac{A}{P}$	積 極	消 極	比	古川氏 $\frac{A}{P}$
新入1年	64	72			66	83		
%	47.06	52.74	0.89	0.81	44.30	55.70	0.79	1.10
1年	41	49			18	54		
%	45.56	54.44	0.85	0.91	25.00	75.00	0.33	1.25
2年	43	65			52	51		
%	39.81	60.19	0.66	1.04	50.49	49.51	1.02	1.34
3年	48	51			37	67		
%	48.48	51.52	0.94	1.36	35.58	64.42	0.55	1.04
4年	41	69			29	72		
%	37.27	62.73	0.59	1.16	28.71	71.29	0.40	0.98
5年	50	50			66	42		
%	50.00	50.00	1.00	0.92	61.11	38.89	1.57	1.20
6年	54	54			41	51		
%	50.00	50.00	1.00	2.00	44.57	55.43	0.80	0.88
計	341	410			309	420		
%	45.41	54.59	0.83	1.11	42.39	57.61	0.74	11.0

即チ各先生方ガ觀ラレタ各年級ノ氣質ト其ノ年級ノ示ス $\frac{A}{P}$ ノ持ツ意義トハ全然一致シナイ。古川氏ノ言ハル、ガ如ク $\frac{A}{P}$ ヲ以テ各年級ノ氣質ヲ説明スルコトハ遺憾ナガラ事實ニ相反スルモノガアル。

(3) 氣質型ト血液型トノ關係

兒童ノ氣質型ノ判定ニハ余等著「石川縣河北郡五小學校兒童ノ血液型調査成績」ニ記載ト同ジ古川氏氣質表ヲ用ヒ、血液型検査前ニ受持教師及ビ父兄等ノ客觀的觀察ノ結果ヲ記入セシムルコト、シタ。

各兒童ノ氣質型ノ判定ハ主トシテ受持教師ノ觀察ニヨツタガ之ニ父兄ノ觀察ヲ參照シ、更ニ其ノ級ヲ受持ツタコトノアル教師二人以上ノ觀察ヲ加ヘ、之等ヲ綜合シタ結果判定セラレタモノデアル。

當該小學校ニ於テハ校長始メ諸先生ハ皆非常ニ兒童ノ氣質性格ノ研究ニ熱心ナル方々デアツテ、特ニ氣質ト血液型トノ關係ニ就イテハ多大ノ興味ヲ持チ、自ラ進ンデ研究ヲ行ハレテ居ルノデアツテ、兒童ノ氣質判定ニ當ツテハ出來ルダケノ努力ヲ拂ハレテキルモノデアル。

血液型ト氣質トガ實際關係アルモノトスレバ次ノ事ガ立證セラレネバナラナイ。

(1) アル血液型ノ所持者ハソレニ相當スルト言ハレル氣質ヲ持ツテ居ラネバナラス。例ヘバO型ノ人ハO型氣質トシテアグラレタ氣質型デナクテハナラナイ。

(2) アル氣質型ヲ所持スルモノハ常ニソレニ相當スル血液型ニ屬シ、其ノ他ノ血液型ノモノデアツテハナラナイ。

即チ(1)ハ「甲ハ乙デアル」トイフコトヲ證明シ、(2)ハ「乙ハ甲デアル」コトヲ證明スルノデアル、此ノ二ツガ立證出來タ時ニ初メテ甲ト乙トハ關係ガアルト判斷セラレテヨイデアラウ。

上記ノ如キ見地ニ立ツテ、コヽニ得タ1440名ノ兒童ノ氣質型ト血液型トノ關係ヲ一括シテ表示スルト第9表、第10表トナル。

第 9 表

氣質型 血液型	O	A	B	AB	計	
O	136 28.63	190 40.00	114 24.00	35 7.37	475 100.00	32.99
A	176 31.77	205 37.00	131 23.65	42 7.58	554 100.00	38.47
B	83 29.12	119 41.75	62 21.76	21 7.37	285 100.00	19.79
AB	34 26.99	53 42.06	30 23.81	9 7.14	126 100.00	8.75
計	429 29.79	567 39.38	337 23.40	107 7.43	1440 100.00	100.00

第9表ニ於テ先ヅ第一ニ注目セラレル事ハ各血液型ヲ通ジテ氣質型A型ト判定セラレタ者ガ第1位ヲ占メテ居ルコトデアル。次イデO型デアツテB型、AB型トイフ順デアリ、此ノ各割合ヲ計算シテ見ルト氣質型Oハ27—32%デアリA型ハ37—42%、B型ハ22—24%、AB型ハ7—8%内外デアツテ、血液型ノ各型ヲ通ジテ殆ンド大差ガナイ。

之ヲ1440名ノ血液型ノ各型ノ%ニ比較シテ見ルト、殆ンド同ジ割合ヲ示シテキルノデアツテ血液型ト氣質型トノ間ニハ何等ノ特別ノ關係ガ無イコトヲ示シテキルノデアル。

今氣質型ト血液型トノ一致率ヲ見ルト、氣質型O型ト判定セラレタモノガ429名アツテ其ノ内血液型Oデアルモノガ136名(31.70%)ニ過ギナイ。A型ト判定セラレタモノハ567名アツテ其ノ内血液型ト一致シタモノハ205名(36.16%)デアリ、B型ト判定セラレタモノハ337名アツテ其ノ内一致シタモノハ62名(18.40%)、AB型ト判定セラレタモノハ107名アツテ其ノ内一致シタモノハ僅カ9名(8.46%)デアツテ各型共ニ一致率ハ極メテ悪ク、氣質型ト血液型トノ間ニハ關係ガナイト言ハナケレバナラナイ。

次ニ、血液型ト氣質型トノ一致率ヲ見ルニ、血液型O型ノ者ハ475名アツテ氣質型ト一致シタモノハ其ノ内136名デアツテ28.63%ニ過ギズ、A型ノモノハ554名アツテ、氣質型トノ一致ハ205名デ37.0%、B型ノモノハ285名中62名(21.76%)氣質型ト一致シ、AB型ハ126名中9名(7.14%)ダケ氣質型ト一致シタニ過ギナイ。

第 10 表 (1)

氣 質 型	O	A	B	AB	計
一 致	136 31.70	205 36.16	62 18.40	9 8.46	412 28.61
不 一 致	293 68.30	362 63.84	275 81.60	98 91.54	1028 71.39

第 10 表 (2)

血 液 型	O	A	B	AB	計
一 致	136 28.63	205 37.00	62 21.76	9 7.14	412 28.61
不 一 致	339 71.37	349 63.00	223 78.24	117 92.86	1028 71.39

以上ノ如ク、血液型ト氣質型トノ各々ノ關係ヲ觀ルニ其ノ間ニ特別ニ關係ガアルトイフ様ナ結論ヲ見出スコトガ出來ナイ。即チ前記ノ(1)モ(2)モ兩方共ニ證明スルコトガ出來ナイノデアツテ、此ノ結果ヨリ見ルト氣質型ト血液型トノ間ニハ全ク何等ノ關係ガナイモノト結論シナケレバナラナイ。

今全兒童1440名中氣質型ト血液型トガ一致シタモノノ總計ハ412名デアツテ、28.61%ニ當ル。此ノ一致率ハ余等ガ曩ニ河北郡五小學校兒童ニ就イテ調査ノ結果得タ平均一致率ヨリ更ニ少イ一致率デアル。

兒童ノ氣質判定ハ前述ノ如ク、各先生ニヨツテ出來ルダケ綿密ニ行ハレタノデアルガ然シナガラ一年生、二年生等ニ於テハ未ダ幼少ノコトデアリ、其ノ觀察モ比較的短時日ナル爲メ或ハ觀察ノ不十分ノ點ガアルカモ知レナイシ、一方四年、五年生ニ就イテハ殊ニ注意シテ各方面ヨリ觀察セシメタモノデアルカラ之等ノ年級ノ間ニ一致率ノ良不良ガアルカモ知レナ

イト思ヒ念ノ爲メ各年級別ニ氣質型ト血液型トノ一致率ヲ計算シテ見タ(第11表)。

然ルニ其ノ結果ハ余等ノ想像ヲ全ク裏切ツテ入學後殆ンド1年ニ近キ一年生ニ於テモ、入學シテ未ダ半歳ヲ出デナイ新入生ニ就イテモ或ハ又五年生、六年生ノ如ク長年月ニ亘ツテ親シク觀察セラレタ兒童ニ就イテモ其ノ一致率ニハ變リガナク25—30%内外デアツタ。

第 11 表

	一 致		不 一 致		計	
	人数	率	人数	率	人数	率
新入1年	75	26.31	210	73.69	285	100.00
1年	52	32.30	109	67.70	161	"
2年	51	30.91	114	69.09	165	"
3年	54	25.71	156	74.29	210	"
4年	54	25.84	155	74.16	209	"
5年	76	36.02	135	63.97	211	"
6年	50	25.13	149	74.87	199	"
計	412	28.61	1028	71.39	1440	"

之ハ受持教師ノ兒童觀察ガ不充分デアル爲メニ氣質型ト血液型トノ一致率が悪イノデハナイトイフコトヲ示シテ居ルモノデアルト言ツテヨイト思フ。

(4) 偶然一致率ニ關スル考察

前述ノ如ク、余等ノ今回ノ調査ノ結果氣質型ト血液型トノ一致率ハ28.61%デアツタガ然ラバ理論的ニ氣質型ト之ニ對應スル血液型ノ者ト偶然一致シ得ル%ハドレ位アルカ、換言スレバ氣質ト血液型トノ間ニ何等ノ關係ガナクモ偶然ニ一致スベキ人数ハ何人アルベキカタ田中氏ニ從ツテ計算シテ見ルナラバ、其ノ偶然一致率ハ

$$M \times \alpha \quad (M \text{ハ氣質型各型ノ人数, } \alpha \text{ハ血液型各型ノ}\%)$$

ナル式ニテ得ラル、筈デアツテ氣質型O型429名中血液型O型ノ

$$\text{人数ハ } 429 \times 32.99 = 142 \text{人}$$

$$\text{氣質型A型567名中血液型Aノ人ハ } 567 \times 38.47 = 218 \text{人}$$

$$\text{氣質型B型337名中血液型Bノ人ハ } 337 \times 19.79 = 67 \text{人}$$

$$\text{氣質型AB型107名中血液型ABノ人ハ } 107 \times 8.75 = 9 \text{人}$$

$$\text{トナリ、全體ニテ偶然一致率ハ } \frac{142 \times 218 + 67 + 9}{1440} = 30.28\%$$

此ノ30.28%ハ氣質ト血液型トガ少シモ關係ガナクテモ一致スル筈ノ數デアラネバナラス。

然ルニ余等ノ調査ノ結果氣質型ト血液型トガ一致シタ%ハ28.61%デアツテ、此ノ偶然一致率ヨリモ更ニ少ナキ數デアツタ。即チ此ノ數ヲ以テシテハ何人ト雖モ氣質型ト血液型トハ關係アルトハ結論シ難キ處デアツテ、遺憾ナガラ今回モ前回同様古川氏ノ言フガ如キ關係ヲ見出スコトガ出来ナイト言ハナケレバナラス。

(5) 教師ニ就イテ行ヘル氣質型ト血液型トノ關係

教師ニ就イテハ古川氏ノ氣質表ニヨツテ各自内省ニヨツテ氣質型ヲ定メ、之ト血液型トガ如何ナル程度ニ一致スルカヲ檢シタ。

檢査人數ハ23名デアツタガ前ニモ述ベタ如ク同教師等ハ何レモ古川氏ノ氣質ト血液型トノ關係ニ關スル假説ニハ多大ノ興味ヲ持チ研究シツ、アル人々デアツテ本調査ニハ研究的良心ノ下ニ自ら進ンデ行ハレタ方々ノミデアルコトヲ特ニ附記シテ置ク。

其ノ結果ハ第12表ニ示ス通りデアツテ血液型O型14名中5名(31.25%)ダケ氣質型O型ト一致シ、A型4名ハ其ノ内1名(25.00%)ダケ氣質型ト一致シ、B型5名ハ其ノ内1名(20.0%)ダケ一致シ、全體デ23名中7名ダケ血液型ト氣質型トガ一致シタノデアツテ一致率ハ30.43%デアル。

第12表 教師ノ内省ニヨル氣質型ト血液型トノ關係

氣質型 血液型	O	A	B	AB	計
O	5	5	2	2	14
A	0	1	2	1	4
B	0	2	1	2	5
AB	0	0	0	0	0
計	5	8	5	5	23

一致 7 一致率 30.43%
不一致 16

調査人數ガ甚ダ少數デアツテ決シテ充分トハ言ヘナイケレドモ先ニ主トシテ受持教師ニヨル客觀的觀察ノ結果得タ兒童ノ氣質型ト血液型トノ一致率モ、今其ノ受持教師ニ就イテ内省ニヨツテ判定セラレタ氣質型ト血液型トノ一致率モ少シモ變ラナイ。齊シク一致率ハ30%内外デ兒童ニ就イテモ成人ニ就イテモ全ク同一結果デアツテ偶然一致率ノ範圍ヲ出デズ、從ツテ兩者ノ關係ヲ否定シナケレバナラヌ様ナ結果トナリ古川氏假説ニ對シテ益々疑義ヲ深カラシムルモノデアル。

四 結 論

1. 余等ハ金澤市新墾町小學校ニ於テ 兒童ノ血液型ヲ調査シ 同時ニ血液型ト氣質ノ問題ニ就イテモ調査ヲ行ツタ。

2. 總數1563名ノ血液型ハO型509名(32.56%), A型601名(38.45%), B型313名(20.03%), AB型140名(8.96%), 人種係數 1.63, $p=2.734$, $q=1.560$, $r=5.706$ 。

石川縣人一般及ビ北陸地方人一般ノ血液型分布ニ比シテ大差ナイ。此ノ他ニ29名ノ教師ノ血液型ヲ檢査シタガO型16名(55.17%), A型5名(17.24%), B型7名(24.14%), AB型1名(3.45%)デアツテ、小學校教師ニハA型ガ多イト言フ古川氏說トハ一致シナイ。

3. 氣質ト血液型トノ問題ヲ究明スルニハ、既ニ教育的又ハ社會的影響ヲ受ケテ複雑ナル

性格ヲ形成シ先天的ノ氣質的基礎ヲ求ムルニ困難ナル成人ヨリモ、未ダ社會的生活ノ日ガ淺ク、性格モ單純デアツテ容易ニ原始的ノ氣質ヲ最モ卒直ニ現ハス兒童ニ就イテ觀察スルコトハ、余等ハ好適ナル方法ノ一ツデアルト考ヘル。

殊ニ最近小學校教育ニ於テハ個性ノ研究ヲ重要視シ、氣質ト血液型トノ問題ヲ闡明スルコトハ教育者ニトツテ最モ興味深ク且ツ緊要ナルコト、シテ當該小學校ニ於テハ最善ノ努力ヲ以テ此ノ觀察ニ協力セラレタ。從ツテ本報告ニ於ケル兒童ノ氣質ノ判定ハ出來ルダケ綿密ニ、研究的良心ノ下ニ行ハレタモノデアルコトヲ信ズル。

4. 1440名ノ兒童ニ就キ、受持教師ノ觀察ニヨツテ、積極的氣質者ト消極的氣質者トニ分ケ、之ヲ各血液型毎ニ觀ルニ、男子ニ於テモ、女子ニ於テモ、O型、B型ハ積極的デアリ、A型、AB型ハ消極的デアルトイフ關係ハ認メラレナイ、却ツテ無秩序ノ状態ニアリ、其ノ差ハ極メテ僅カデアツテ平均誤差ノ範圍内ニアリ、血液型トノ關係ヲ肯定スルニ充分デナイ。

5. 各年級ニ就イテ積極的氣質者ト消極的氣質者トノ各々ノ割合ノ比ヲ古川氏ノ $\frac{A}{P}$ ト對照シテ考察シテ見ルニ、其ノ間ニ何等ノ關係ヲモ見出サナカッタ。從ツテ $\frac{A}{P}$ ヲ以テ團體又ハ民族ノ氣質ヲ推論スルコトハ當ヲ得タモノトハ言ハレナイ。

6. 受持教師及ビ父兄等ノ客觀的觀察ニヨル兒童ノ氣質型ト血液型トノ一致率ハ各年級ニ就イテモ又全體ニ就イテモ極メテ悪ク、常ニ略々一定シテ30%内外デアツタ。

教師23名ノ各自ノ内省ニヨル結果モ一致率ハ30.43%デアツタ。

本調査ニ於テ血液型ト氣質型トノ平均一致率ハ28.61%デアルニ、當然豫期セラルベキ偶然一致率ハ30.28%デアル。從ツテ氣質型ト血液型トノ間ニハ關係ガアルト結論スルコトガ出來ナイ。

余等ノ今回ノ調査ノ結果モ前回報告「石川縣河北郡五小學校兒童ノ血液型調査成績」ニ於ケル結果ト殆ンド一致シ、古川氏ノ假說ニ對シテ益々疑義ヲ深カラシムルモノデアル。

終リニ御校閣ヲ賜ハリシ古畑教授ニ深謝スルト共ニ、本調査ニ際シ多大ノ御便宜ヲ御計ヒ下サレシ新堅町小學校吉田儀盛校長始メ、諸先生方ニ對シ衷心感謝ノ意ヲ表シマス。尙兒童ノ採血當日オ手傳ヒ下サレシ木村知孝氏ニ感謝致シマス。

主 要 文 獻

- 1) 上道清一、正木信夫、桑島直樹、富山縣氷見郡下小學校兒童ノ血液型調査報告、犯罪學雜誌、第5卷、第2號、昭和6年11月。
- 2) 古川竹二、血液型ト精神現象トノ關係、並ニソノ應用方面ノ研究心理學研究、第6卷、第1輯、昭和6年2月。
- 3) 同人、血液型ト氣質、三省堂出版、昭和7年1月。
- 4) 同人、血液型ニヨル團體的氣質ノ研究、生理學研究、6卷、11號、昭和4年11月。
- 5) 同人、血液型ヨリ見タル臺灣蕃人ト北海道アイヌ人ノ民族性、犯罪學雜誌、第4卷、第2號、昭和6年3月。
- 6) 金關丈夫、血液型ト人種心性トノ關係、生理學研究、第6卷、第9號、昭和4年9月。
- 7) 淺田一、團體ト血液型、優生學、第8卷、第2號、昭和6年2月。
- 8) 大岩博雅、血液型ト精神型トノ關係ニ就テノ研究、腦、第4卷、第12號、昭和5年12月。
- 9) 永山千代作、血液

型ト其2,3統計的觀察,成醫會臨牀,第3卷,第2號,昭和6年12月。 10) 岩波浩,海軍兵學校生徒ノ血液型ト諸觀察,犯罪學雜誌,第5卷,第4號,第6卷,第1號,昭和7年3月,5月。

11) 西郷一惠,宮川頌壽,熊本縣人ノ血液型並ニ之ト氣質トノ關係ニ就イテ,犯罪學雜誌,第5卷,第3號,昭和7年1月。 12) 岸孝義,上道清一,血液型ト氣質トノ關係ニ就テ,社會醫學雜誌,昭和4年。 13) 山田兵三,石川,福井兩縣下隊兵ノ血液型ニ關スル研究報告,犯罪學雜誌,第4卷,第2號,昭和6年3月。 14) 石川七五三二,血液型ニ基ク個性型ノ研究,愛知兒童研究所,第6輯。 15) 同人,血液型ニ基キ進歩セル個性型ノ研究,優生學,第93號,昭和6年11月。 16) 久保良英,自己判斷ニヨル性格ト血液型トノ關係,兒童研究所紀要,第14卷,昭和7年1月。 17) 三宅徳二郎,橋本敏雄,所謂劣等兒ニ於ケル血液型ト氣質トノ關係ニ就イテ,東京醫事新誌,第2795號,昭和7年9月。 18) 久保良英,血液型ニヨル氣質判斷ノ偶然適中率,應用心理,4月號,昭和7年4月。 19) 松井三雄,血液型ト神經型,優生學,第8號,昭和6年8月。 20) 田中秀雄,血液型ト氣質トノ關係ニ就テノ小實驗,心理學研究,第7卷,第1號,昭和7年2月。